

第 14 回 北九州脳卒中地域連携パス協議会

議事録

日時：2013 年 10 月 31 日（木） 19:00～19:15

場所：産業医科大学ラマツィーニ大ホール

司会：北九州脳卒中地域連携パス協議会 副委員長 蜂須賀 研二 先生

議事内容：

北九州脳卒中地域連携パス事務局 幹事、高橋より以下の内容について報告した。

1. 連携パス集計結果

2009 年 4 月 1 日から 2013 年 10 月 10 日までに急性期病院、連携病院のどちらかから医師会を經由して当事務局に送付された連携パスシートは合計 2149 件であった。このうち急性期病院のみに送付されている連携パスシートが 1665 件、連携病院のみに送付されている連携パスシートが 1640 件であることから未送信の連携パスシートは、急性期病院 494 件、連携病院 509 件であると推測される。

連携パスシートを集計した発症時平均年齢は 73.8 歳であり、年代別では 70 歳代が最も多く、90 歳以上の発症は全体の 5.9%を占めており、全国集計と比較すると北九州市は脳卒中の発症年齢が高い傾向にある。病型別発症割合は脳梗塞が 65.1%、脳出血が 28.8%であったが、全国集計では脳梗塞 75.4%、脳出血 17.8%であるため（脳卒中データバンク 2009）、北九州市は全国と比べ脳梗塞の発症割合が低く、脳出血の割合が高い。内科的合併症の頻度は脳梗塞では高血圧 59.1%、脂質異常症 22.9%、糖尿病 23.7%、心房細動 25.9%であり、脳出血は高血圧 72.7%、脂質異常症 9.8%、糖尿病 10.7%、心房細動 6.2%であった。

急性期病院と連携病院双方の連携パスシートが揃っているデータのみで解析すると、退院時 BI の年度別平均点数は、連携病院は 2009 年度 68.6 点からほぼ横ばいで 2012 年度は 70.4 点であった。急性期病院では 2009 年度 42.8 点、2010 年度 47.9 点、2011 年度 52.6 点、2012 年度 49.5 点と特に連携パス導入後 3 年間で大きく増加していた。これは連携パス導入により、急性期病院でのリハを含めた脳卒中ケアの質が充実し患者の退院時の ADL 能力が向上したためであると推察される。年度別入院日数は、2009 年度から 2011 年度は急性期病院、連携病院とも大きな変化はみられなかったものの、急性期病院で 2011 年度 27.7 日が 2012 年度 25.2 日、連携病院で 2011 年度 88.3 日が 2012 年度 83.8 日と短縮傾向にある。

連携病院の自宅退院率は 2009 年度から 2011 年度は 64～68%の間でほぼ横ばいであったが、2012 年度は 70.5%と上昇していた。

次に、連携病院から自宅に退院した患者の特徴について統計学的に解析した。自宅退院患者と自宅退院以外の患者を比較したところ、自宅退院患者は有意に年齢が低く(71.3±11.7 歳/77.6±10.5 歳、 $p<0.01$)、脳卒中の重症度(急性期病院での NIHSS)が低く(4.3±4.3/8.6±7.1、 $p<0.01$)、連携病院での入院期間が短く(78.6±45.8 日/99.5±60.2 日、 $p<0.01$)、連携病院退院時の ADL 能力(Barthel Index)が高かった(87.0/46.2、 $p<0.01$)。また、神経症候の割合を比較すると自宅退院患者は自宅退院以外の患者と比較し構音障害、失語症の割合には差がなかったが、嚥下障害、高次脳機能障害、上肢重度麻痺(Br.stage I、II)、下肢重度麻痺(Br.stage I、II)の症状を有する割合が有意に高かった。

2. 一括申請【退院時指導料(II)】について

現在、連携外来医療機関(かかりつけ医)で、協議会に参加あるいは連携パスを利用している医療機関は少なく、診療報酬を算定するための申請手続きの煩わしさの一因であると考えられたため、2012 年度より事務局が計画管理病院、連携外来医療機関の書類を取りまとめて一括申請することとした。2012 年は登録申請を希望する連携外来医療機関は 1 件であり、2013 年 3 月に九州厚生局に一括申請を行い受理された。今後も年に 1 度の一括申請を行う予定である。

3. 事務局連絡事項

① 第 15 回北九州脳卒中地域連携パス協議会の開催予定

2014 年 1 月 16 日 (木) 19:00～ リーガロイヤルホテル小倉

② これまで同様、パス使用時はコピーを下記北九州医師会へ FAX または郵送をして頂きたい。

〒802-0077 北九州市小倉北区馬借 1-7-1

北九州医師会内 北九州地域連携運営委員会

FAX 093-513-3816

③ 今後の連携パス運用に活かすため、連携パスへのご意見やご要望をお聞きしており、また、今後の協議会の議題等についてのご要望もあれば併せて下記までご連絡頂きたい。

〒807-8555 北九州市八幡西区医生ヶ丘 1-1

北九州脳卒中地域連携パス協議会事務局(産業医科大学リハ医学講座)

担当職員: 杉保 聖子、事務局幹事: 高橋 真紀

Fax: 093-691-3529 E-mail: reha@mbox.med.uoeh-u.ac.jp

文責 北九州脳卒中地域医療連携パス協議会 幹事

高橋 真紀

別紙) 2013.10.31 北九州脳卒中連携パス出欠者

出席者 (敬称略) (順不同)

副委員長、事務局代表 : 蜂須賀 研二

副委員長 : 浜村 明徳

事務局幹事 : 高橋 真紀、事務局担当 : 杉保 聖子

委員 :

北九州総合病院	脳神経外科	前田 仁史
九州労災病院	脳神経内科	荒川 修治
北九州市立八幡病院	脳神経外科	越智 章
製鉄記念八幡病院	リハビリテーション部	小柳 靖裕
九州厚生年金病院	理学療法士	林 秀俊
正和中央病院	リハビリテーション科	浦上 泰成
福岡新水巻病院	脳神経外科	金 茂成
大手町リハビリテーション病院	看護師	鴨崎 治美
安倍山公園病院	内科	田中 繁
東和病院	作業療法士	河野 修
北九州八幡東病院	理学療法士	山下 太
正和なみき病院	リハビリテーション科	浦上 泰成
新生会病院	ソーシャルワーカー	岩丸 悦子
東筑病院	リハビリテーション科	前川 信行
戸畑けんわ病院	リハビリテーション科	二見 哲夫
遠賀中間医師会おかがき病院	ソーシャルワーカー	野邊 薫
松井病院	内科	松井 豊
くらて病院	理学療法士	今永 真之
香月中央病院	理学療法士	宮崎 達也
浅木病院	作業療法士	峯浦 達雄
町立芦屋中央病院	理学療法士	福田 明仁
北九州湯川病院	理学療法士	丸山 勝人
北九州小倉病院	内科	金川 賢二
あやめの里	理学療法士	志田 啓太郎

欠席者 :

委員長 : 石束 隆男

担当理事 : 井手 誠一郎

オブザーバー : 重吉 桂司 山本 博之

新小文字病院 脳神経外科 金子 陽一

健和会大手町病院 脳神経外科 末廣 栄一

小倉記念病院 神経内科 古田 興之介

北九州市立医療センター	脳神経外科	塚本 春寿
北九州市立医療センター	脳神経外科	金田 章子
三萩野病院	理学療法士	宮原 夏子
九州労災病院	看護部	久保 えつ子
済生会八幡総合病院	脳神経外科	岡本 右滋
産業医科大学病院	ソーシャルワーカー	野田 雅美
戸畑共立病院	脳神経外科	辻 武寿
牧山中央病院	内科	本村 良次
小倉リハビリテーション病院	リハビリテーション科	大野 重雄
芳野病院	理学療法士	小西 智晴
戸畑リハビリテーション病院	理学療法士	今別府 和徳
宗像水光会総合病院	ソーシャルワーカー	下濱 絵里香
北九州市立門司病院	ソーシャルワーカー	前田 秀隆
北九州中央病院	脳神経外科	愛甲 康隆
大原病院	介護支援専門員	稲富 武史
宮田病院	ソーシャルワーカー	赤星 宣子
西野病院	院長	西野 憲史
大平メディカルケア病院	理学療法士	大橋 繫
慈恵曽根病院	看護師	小川 静江
相生リハビリテーションクリニック	リハ科	牧野 健一郎
新中間病院	ソーシャルワーカー	和田 菊栄
八幡慈恵病院	院長	真角 正
神原クリニック	作業療法士	泊 政次
新小倉病院	脳神経外科	吉開 俊一
伸寿苑	ソーシャルワーカー	若月 伸一
二島医院	院長	武 彰

九州労災病院門司メディカルセンターについては委員未選定

委員以外が出席した登録医療機関

製鉄記念八幡病院、産業医科大学病院、新小文字病院、北九州市立医療センター、北九州総合病院、九州労災病院、済生会八幡総合病院、北九州市立八幡病院、九州厚生年金病院、戸畑共立病院、正和中央病院、福岡新水巻病院、牧山中央病院

大手町リハビリテーション病院、小倉リハビリテーション病院、北九州安部山公園病院、東和病院、北九州八幡東病院、正和なみき病院、新生会病院、東筑病院、戸畑けんわ病院、戸畑リハビリテーション病院、遠賀中間医師会おかがき病院、北九州市立門司病院、松井病院、北九州中央病院、大原病院、宮田病院、くらて病院、香月中央病院、新中間病院、神原クリニック、浅木病院、町立芦屋中央病院、北九州湯川病院、西野病院、八幡慈恵病院、大平メディカルケア病院、北九州小倉病院

あやめの里、伸寿苑

一般出席者	急性期病院	医師	19名	医療従事者	45名
	回復期病院・その他	医師	30名	医療従事者	130名
	行政・企業・学生関係など		7名		